

PL研究会 研究学

部会開き食品リコールの実態検討



オンライン併用で開催された研究部会。食品リコールなどが報告された(6月27日)

「当学会は製品の安全性確保の研究など、ハードウェアを対症に活動を展開し、加えてオンライン参加の二つの形態で実施。開催にあたりPL研究会の大羽宏一(会長)が、

届かない消費者への発信情報

PL(製造物責任)に関する総合的な研究を進めるPL研究会(大羽宏一会長)の「製品リコール研究部会」が六月二十七日、東京都内で今年度第一回部会を開いた。当日は「食品リコールの実態と課題」及び「製品リコールと表示」につい

消費者

の目

二人の研究者が報告した。いずれも消費生活の安全施策に密接に関連した内容で、それぞれ「リコール」の重要性と実効性、今後の課題が提起された。PL研究会は研究成果を踏まえ、政策提言も検討していく。

一気に届出件数約2倍に増加 厚労省、消費者庁、リコール対応に相違

PL研究会および研究部会として「食品のPL対応」や「食品リコール」についても研究していく方針を明らかにした。

「食品ロス削減の社会的要請もあり、リコール案件を発生させないよう、日々、品質保証業務を充実・向上させていくことが食品業界では前提となっている。現在はリコールに備えたクライシスマネジメントも重視されている」と

品全体では二〇二〇年までは年間八百件前後。それが二一年度には二倍の千四百件台に激増。輸入食品でも二一年五月まで毎月五十件前後だったものが、六月からはいつきに百件台になり、昨年十二月には二百件台を突破した。松本さんは「これまで発生数が少なかつたわけではなく、届け出されなかつたリコールが相当あったと推測される」と

「食品ロス削減の社会的要請もあり、リコール案件を発生させないよう、日々、品質保証業務を充実・向上させていくことが食品業界では前提となっている。現在はリコールに備えたクライシスマネジメントも重視されている」と

「食品ロス削減の社会的要請もあり、リコール案件を発生させないよう、日々、品質保証業務を充実・向上させていくことが食品業界では前提となっている。現在はリコールに備えたクライシスマネジメントも重視されている」と

品全体では二〇二〇年までは年間八百件前後。それが二一年度には二倍の千四百件台に激増。輸入食品でも二一年五月まで毎月五十件前後だったものが、六月からはいつきに百件台になり、昨年十二月には二百件台を突破した。松本さんは「これまで発生数が少なかつたわけではなく、届け出されなかつたリコールが相当あったと推測される」と

PL研究会および研究部会として「食品のPL対応」や「食品リコール」についても研究していく方針を明らかにした。

「食品ロス削減の社会的要請もあり、リコール案件を発生させないよう、日々、品質保証業務を充実・向上させていくことが食品業界では前提となっている。現在はリコールに備えたクライシスマネジメントも重視されている」と

品全体では二〇二〇年までは年間八百件前後。それが二一年度には二倍の千四百件台に激増。輸入食品でも二一年五月まで毎月五十件前後だったものが、六月からはいつきに百件台になり、昨年十二月には二百件台を突破した。松本さんは「これまで発生数が少なかつたわけではなく、届け出されなかつたリコールが相当あったと推測される」と

「食品ロス削減の社会的要請もあり、リコール案件を発生させないよう、日々、品質保証業務を充実・向上させていくことが食品業界では前提となっている。現在はリコールに備えたクライシスマネジメントも重視されている」と

「食品ロス削減の社会的要請もあり、リコール案件を発生させないよう、日々、品質保証業務を充実・向上させていくことが食品業界では前提となっている。現在はリコールに備えたクライシスマネジメントも重視されている」と

品全体では二〇二〇年までは年間八百件前後。それが二一年度には二倍の千四百件台に激増。輸入食品でも二一年五月まで毎月五十件前後だったものが、六月からはいつきに百件台になり、昨年十二月には二百件台を突破した。松本さんは「これまで発生数が少なかつたわけではなく、届け出されなかつたリコールが相当あったと推測される」と

品全体では二〇二〇年までは年間八百件前後。それが二一年度には二倍の千四百件台に激増。輸入食品でも二一年五月まで毎月五十件前後だったものが、六月からはいつきに百件台になり、昨年十二月には二百件台を突破した。松本さんは「これまで発生数が少なかつたわけではなく、届け出されなかつたリコールが相当あったと推測される」と

NET

◎EUエコーラベルが30周年、欧州委員会が記念イベント開催
欧州委員会は一九九二年に導入された「EUエコーラベル」の三〇周年記念イベントを実施すると発表した。展示用キヤラバンを牽引する電動自転車では欧州各国を巡るとい

う構想。ベルギー・ブリュッセルからドイツ、エストニア、ハンガリー、チェコ、ルクセンブルクを巡り、世界エコーラベルデーの十月十三日に再びブリュッセルに戻ってくる。各都市の広場などに立ち寄り、キヤラバン内の展示ブースで様々な認

定商品を展示する。エコーラベルは現在、二四分野の約九万製品・サービスに表示されている。
◎販売不振の新車市場で電気自動車が進化
英国自動車市場は、今年五月の新車登録数は前年同月比二〇・六%減少した。過去三〇年で最悪となった。その中で電気自動車は躍進し、今年の上は前年と比べて七一・

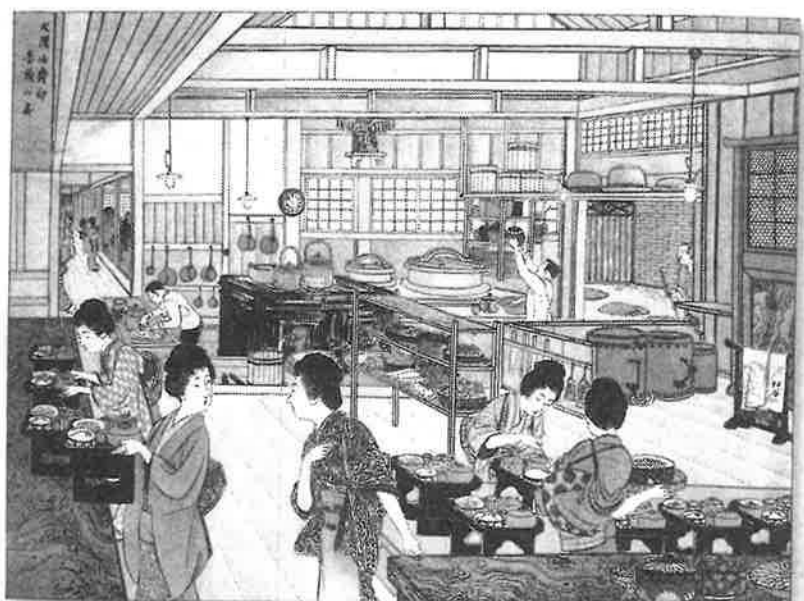
伸ばしているのが電気自動車だ。市場動向を報告した英国の消費者団体Which?によると、今年五月の新車登録数は前年同月比二〇・六%減少した。過去三〇年で最悪となった。その中で電気自動車は躍進し、今年の上は前年と比べて七一・

二%増加し、新車販売台数の一四%以上を占めた。英国では二〇三〇年までにガソリン車の新車販売が禁止されるため、今後ますます普及率が高まる見通し。ただ、この成長を続けるには充電インフラの整備が不可欠だと指摘している。

あなたとずっと、今日よりもっと。



時代が変わっても、 ガスの美味しさは変わりません。



これは明治時代に出版された村井弦斎の料理小説「食道楽」の挿絵の一枚。大隈重信邸の台所の様子が描かれています。美味しそうな香りが今にも漂ってきそうです。正面奥には英国製のガスレンジ、右手には日本初のガスかまどが3台。薪や炭を燃やして調理するのが主流だった時代、ススが出ずに衛生的で、火力を自由に調節できるガスによる調理はいいことづくめ。この頃に登場したガス調理器具が、現代のガスコンロの先駆けとなりました。昔も今もこれからも、美味しさつくるガスの炎。お客さまにもっと料理の楽しさをお届けしたい、東京ガスです。